

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	学校交際費	部課名	教育委員会事務局教育総務課	課長名	入野 隆二						
		担当者名	渡部 由香	内線	3312						
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	学校交際費（幼稚園・小学校）（01-04-01） 学校交際費（中学校）（01-04-01）										
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業							
開始年度	昭和 平成	27 年度	根拠	学校交際費の内訳及び支出基準（内規）							
終期設定	有 無	年度	法令等								
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画						
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]									
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]									
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]									
目的	荒川区立学校及び幼稚園が地域や学校関係団体と公の交渉をし、円滑に学校運営を行うため										
対象者等	学校長、園長が使用										
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庶務課が、各学校（園）の規模や特別支援学級の有無等を考慮の上、予算の配分及び令達をする。</li> <li>・各学校（園）長が、社会通念上妥当と思われる範囲内で支出をする。</li> </ul> <p>&lt;支出内訳は下記のとおり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慶弔費（学校関係団体や町会等の役員または学校医運営に密接に関係する個人に対する叙勲・表彰等の祝い、香典等）</li> <li>会費（学校関係団体や町会等が主催する総会、新年会、忘年会、懇親会、同窓会、行事、等）</li> <li>接待費（区内外からの学校への来訪者の接待に係る経費）</li> <li>購読料（教育関係紙の購読に係る経費）</li> <li>見舞・緊急対策費（学校関係団体役員や町会等の役員、学校運営に関係する個人児童・生徒のお見舞い等の経費）</li> </ul>										
経過	平成11年7月8日 学校交際費の内訳及び支出基準（内規）制定										
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	予算額（千円）	4,646	4,393	4,393	4,393	4,393	4,393	4,430	4,430	4,319	4,319
	対前年度増減（千円）	244	253	0	0	0	0	37	0	111	0
対前年度増減率（%）	5.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	2.5	0.0	
必要性	地域や学校関係団体との関係を密にし、学校運営を円滑に行うため必要である。										
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）										

		（単位：千円）							
予算・決算額等の推移		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		予算額	4,393	4,393	4,393	4,430	4,430	4,430	4,319
	決算額（23年度は見込み）	3,701	2,955	3,332	3,114	3,523	3,042	4,319	
	人件費等		854	427	847	814	872		
	減価償却費						291		
	【事務分担量】（%）		10	5	10	10	10		
	合計（+ +）	3,701	3,809	3,759	3,961	4,337	3,914	4,319	
	国（特定財源）								
	都（特定財源）								
	その他（特定財源）								
	一般財源	3,701	3,809	3,759	3,961	4,337	3,914	4,319	
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	支出内訳（件数）								
	慶弔費	219	193	229	187	179	179	185	
	会費	345	257	305	287	410	274	285	
	接待費	16	70	63	88	91	90	90	
	購読料	33	4	3	2	1	1	2	
	見舞金	10	62	47	34	27	32	33	

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	交際費	決算額	3,523	決算額	3,042	予算額	4,319
		慶弔費	1,026	慶弔費	1,050	慶弔費	1,400
		会費	2,058	会費	1,478	会費	2,200
		接待費	299	接待費	330	接待費	500
		購読料	12	購読料	12	購読料	20
		見舞金	128	見舞金	172	見舞金	199

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	慶弔費（件）	187	179	179	185		
	会費（件）	287	410	274	285		
	接待費他（件）	124	119	123	125		

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	地域に開かれた学校として円滑な関係を構築するため、継続していく。

議会議決要旨（要旨）	
------------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	教職員互助会補助	部課名	教育委員会事務局教育総務課	課長名	入野 隆二
		担当者名	秋元 俊紀	内線	3315
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	教職員互助会補助（01-08-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	27 年度	根拠	荒川区教職員互助会に関する条例、荒川区教職員互助会補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	荒川区立学校に勤務する教職員の福利厚生及び親睦を目的とする。				
対象者等	荒川区立学校に勤務する小中学校教職員（校長、副校長、教諭、養護教諭、充て指導主事、都費事務職員、都費学校栄養士職員） 会員数705名（平成23年4月1日現在）				
内容	(1)区教職員互助会の事業（教職員レクリエーション、人間ドッグ、親睦会等）に対し補助する。 (2)補助金額 毎年提出される事業計画について、その内容を確認のうえ区職員互助会との均衡を図りながら執行している。				
経過	(1) 根拠等 平成11年度まで荒川区立学校関係団体補助金交付要綱により処理。 平成12年度から荒川区立学校関係団体補助金交付要綱の一部改正により、荒川区教職員互助会補助金交付要綱を独立させ処理することとした。 (2) 対象事業 平成9年度までの補助金対象事業は、共済給付事業（見舞金、祝金、弔慰金）及び事業費（レクリエーション、親睦会、旅行会、人間ドック）であった。				
必要性	「荒川区教職員互助会に関する条例」に基づき、教職員相互の共済及び福利厚生について実施する必要がある。しかし、事業の実施については、より多様な施策により生活の安定及び福利厚生の向上をはかる一方、当該事業が区民に理解され納得されるものであるよう、不断に見直し等を行うことが求められる。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 互助会の実施する事業のうち、指定した事業の経費について、互助会からの交付申請に基づき、交付を決定し支出する。補助事業の完了（又は当該年度を終了）時には、補助事業の実績報告書の提出により、補助金額を予算の範囲内において確定する。				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	8,767	8,767	8,460	8,460	8,460	8,460	6,515
	決算額（23年度は見込み）	0	7,317	8,106	7,933	7,972	6,166	6,515
	人件費等	345	342	342	424	407	436	
	減価償却費						145	
	【事務分担量】（%）	4	4	4	5	5	5	
	合計（+ +）	345	7,659	8,448	8,357	8,379	6,602	6,515
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
その他（特定財源）								
一般財源	345	7,659	8,448	8,357	8,379	6,602	6,515	
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	会員数	693	695	686	681	686	696	705

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	負担金補助及び交付金	教職員互助会事業補	7,972	教職員互助会事業補	6,166	教職員互助会事業補	6,515

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	レクリエーション事業利用率	89.9%	84.7%	82.7%	87.0%	100.0%	会員数に対する事業利用率
	人間ドッグ事業利用率	6.5%	5.0%	5.3%	11.5%	20.0%	会員数に対する事業利用率
	親睦会・旅行会事業利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	会員数に対する事業利用率

（問題点・課題分析）	区職員互助会との均衡を図る必要がある。
他区の実況	（実施 9 区 未実施 13 区） 未実施：千代田、港、墨田、渋谷、中野、豊島、北、江戸川、足立、葛飾、大田、杉並、練馬

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区職員互助会との均衡を図りながら、事業内容の見直しを検討する。	社会情勢の変化に立ち遅れないように、事業の見直しを行うことにより、教職員の福利厚生の適正な執行及び区民感覚を反映した事業執行ができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	事業内容を見直しつつ継続して実施する。

議会議決要旨	
--------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	就学事務	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀隆
		担当者名	石田勝己・加藤英末	内線	3333
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	学務課事務費（01-02-03）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠法令等	憲法第26条、教育基本法第5条、学校教育法第17条、学校教育法施行令第1条	
終期設定	有 無	年度		第5条、第8条、第9条等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	学齢対象者等が、適切に就学の機会を得られるようにする。				
対象者等	原則として、区内在住学齢対象者、及び都内在住・在勤者（夜間学級）				
内容	<p>【学級編制】 学級編制同意協議、学級編制の弾力的運用、学齢簿管理等</p> <p>【転入学等就学手続】 就学・入学通知書の発行、指定校変更・区域外就学・外国人入学申請、就学義務の猶予・免除、関係帳票類の作成等</p> <p>【各就学関係の調査への回答】 学校基本調査・公立学校統計調査、教育人口等推計基礎調査、中学校夜間学級に関する文部科学省調査、中学校夜間学級生徒の実態調査</p>				
経過	「荒川区における指定校変更及び区域外就学の手続に関する要領」を平成11年1月4日より施行				
必要性	義務教育の機会を適切に確保するために必要である。				
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	290	290	290	290	290	290	290
	決算額（23年度は見込み）	180	179	330	121	425	118	290
	人件費等	7,757	8,540	8,540	8,470	8,958	9,156	
	減価償却費						3,050	
	【事務分担量】（％）	90	100	100	100	110	105	
	合計（ + + ）	7,937	8,719	8,870	8,591	9,383	12,324	290
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	7,937	8,719	8,870	8,591	9,383	12,324	290
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	小学校就学通知数（10/1付）	1,317	1,422	1,286	1,388	1,497	1,472	1,471
	入学者数（4/1付）	1,181	1,310	1,269	1,300	1,409	1,357	1,346
	中学校入学通知数（10/1付）	1,286	1,316	1,333	1,288	1,424	1,380	1,488
	入学者数（4/1付）	923	922	988	914	1,056	1,003	965

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
一般需用費	就学通知書ほか		166	就学通知書ほか	118	入学通知書	65
	通学区域図		122			就学通知書	65
	区域外就学願		90			通学区域図	80
	入学予定者名簿		47			区域外就学願	15
						指定校変更申立書	15
						入学予定者名簿	26
					転入者用通知書	25	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	区内就学率（小学校）	93.7	94.1	92.2	93.8	-	入学者数 / 学齢簿数
	区内就学率（中学校）	71.0	74.2	72.7	73.6	-	入学者数 / 学齢簿数
	他区への区域外就学率（中学校）	4.2	2.9	3.0	2.2	-	区域外就学者数 / 学齢簿数

（問題点・課題）	学校選択制度に伴い児童・生徒の異動が増加し、学齢簿データでの管理が困難となっており、システム化を検討する必要がある。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
新一年の入学用データを卒業までデータで更新し続け、当該学年の学齢簿としていく。	検索しやすい。データとして広範囲に利用可能。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	法に基づき保護者に子どもの就学義務を履行させるための手続きである。

（状況）	14年一定 「30人学級の実現に努めること」 15年二定 「基礎学力の充実のために30人学級に踏み出すこと」 16年四定 「T T 加配教員を学級担任とし30人学級の実施を都に申請すること」
------	---

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	教職員健康診断	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀隆
		担当者名	荒井信行	内線	3337
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	教職員健康診断（01 - 08 - 04）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成 34 年度	根拠	学校保健安全法、労働安全衛生法		
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	荒川区立小、中学校の教職員の健康に関して疾病の予防と早期発見のため、健康診断を実施し、以って学校教育の円滑な実施に資することを目的とする。				
対象者等	荒川区立小、中学校の教職員（都費職員）（但し、区費職員は職員課が予算計上）				
内容	検診名	対象者	検診項目		
	一般総合健康診断	都費教職員	一次検診 問診、視力、聴力、尿、血圧、血液検査、胸部X線撮影等 35歳と40歳以上は血液検査、心電図を追加 二次検診 問診、血液検査、尿、心電図、眼底等		
	消化器検診	40歳以上の都費教職員	一次検診 X線間接撮影 二次検診 X線直接撮影、内視鏡検査、細胞診検査		
	VDT検診(区独自)	都費教職員のVDT作業	基礎調査、視力、視機能検査等		
	大腸がん検診(区独自)	40歳以上の都費教職員の希望者	質問票による調査、便潜血反応2回法		
	肺がん検診(区独自)	40歳以上の都費教職員の希望者	質問票による調査、喀痰細胞診		
	婦人科検診(区独自)	子宮 20歳以上の女子都教職員 乳房 40歳以上の女子都教職員	子宮頸癌検査 診察、細胞診、超音波断層撮影 乳癌検査 診察、乳房X線撮影		
	B型肝炎予防接種(区独自)	養護教諭のうち希望者	事前検査、ワクチン接種(3回)、抗体確認検査、追加接種		
経過	平成17年度より、消化器検診の対象者を学校保健法に従い、40歳以上の希望者から40歳以上に変更。平成23年度より精神疾患の早期自覚、早期対処を基本方針としストレス検査を実施。また、尿酸の値を測ることも開始し、健康管理を推進していく。				
必要性	学校教育を円滑に実施するためには、教職員の健康管理は、必要不可欠である。また、学校保健安全法第15条に、「学校の設置者は毎学年定期に、学校の職員の健康診断を行わなければならない。」と定められている。				
実施方法	(3委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 平成23年度 委託状況 一般総合、消化器、大腸、肺がん検診、VDT検診、ストレス検診：荒川区医師会 B型肝炎予防接種：こころとからだの元氣プラザ 婦人科：社会保険鶯谷診療所				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
予算額	16,282	16,273	16,839	17,463	17,864	18,791	18,900	
決算額（23年度は見込み）	14,885	15,418	16,271	16,484	16,565	16,907		
人件費等	3,448	3,416	2,562	1,271	2,850	2,616		
減価償却費						872		
【事務分担当】（%）	40	40	10	15	35	30		
合計（+ +）	18,333	18,834	18,833	17,755	19,415	20,395	0	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	18,333	18,834	18,833	17,755	19,415	20,395	0	
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	教職員数	708	720	742	781	795	861	850
	一般検診受診者数	629	620	676	688	718	751	751
	消化器検診受診者数	137	146	152	182	198	209	
	大腸、肺、婦人科、B型受診者数	308	336	460	537	501	531	

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
委託料	一般総合健康診断	10,573	10,778	一般総合健康診断	10,778	一般総合健康診断	11,611
	消化器検診	1,648	1,479	消化器検診	1,479	消化器検診	1,940
	胸部X線、VDT検診	2,607	2,736	胸部X線、VDT検診	2,736	胸部X線、VDT検診	2,813
	大腸がん検診	276	274	大腸がん検診	274	大腸がん検診	287
	肺がん検診	473	513	肺がん検診	513	肺がん検診	546
	婦人科検診	890	1,069	婦人科検診	1,069	婦人科検診	1,541
	B型肝炎予防接種	99	58	B型肝炎予防接種	58	B型肝炎予防接種	162

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	一般総合健康診断受診率	92.8%	93.5%	92.4%	/	100.0%	人間ドック等の受診者含む
	消化器検診受診率	74.0%	60.0%	65.5%	/	100.0%	受診者/希望者
	その他検診受診率(肺腸婦)	84.0%	72.1%	88.9%	/	100.0%	受診者/希望者

(問題点・課題)	・教職員の健康状態が、保健上及び教育上、児童・生徒に与える影響が大きいため、健康診断受診率の向上に努める必要がある。
(実施状況)	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
定期健康診断未受診者の状況把握を行い、未受診者に対して人間ドック等の健康診断の受診を勧める。	健康管理の意識向上が図れる。
教職員二次検査の実施方法（場所、日程、時間）を、教職員が受診しやすいよう改善を進める。	受診率増加により、教職員の健康推進が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	学校保健安全法により実施する義務がある。

(議会要旨)	
--------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	小学校管理運営費	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀 隆
		担当者名	安東真吾	内線	3331
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	学校管理費（01-03-01）、教材教具（01-05-01）、小学校運営費（01-15-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠	なし	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	区立小学校の円滑な管理運営や学習指導等に寄与する。				
対象者等	区立小学校 24校				
内容	学校管理費...光熱水費、消耗品費、物品修繕費、通信運搬費、手数料、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費 教材教具...副読本等消耗品費、印刷製本費、物品修繕費、備品購入費 小学校運営費...一般賃金、近接地外旅費、食糧費、消耗品費、校庭芝生管理費、印刷製本費、校外学習用バス借り上げ 生ゴミ堆肥化事業：H11年度、小・中各2校で試行。H12年度から全校実施。				
経過	学校の管理運営に必要な基本的な経費として一定額を確保してきた。 「ピッカピカの1年生に真新しい机といすを」：H3年度～H22年度完了。新1年生全員に机といすを貸与し、6年間使用させる。 机・いすの寄贈：H8年度～H22年度完了。6年生が持ち帰らなかった机といすを外国に寄贈。（当初はドミニカ、H10～H22ジャマイカ） 小学校運営費：さざなみ学校協力金（H21）、興津健康学園（H13～H20）				
必要性	学校管理運営を円滑に進めるうえで、欠くことのできない必要経費である。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 学務課予算分は、学務課が直接執行（契約、支払など）。 学校への予算令達分は、各学校で執行。				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	456,586	455,085	453,134	446,545	454,720	488,714	511,137
	決算額（23年度は見込み）	427,515	412,950	410,497	425,065	419,606	449,895	511,137
	人件費等	6,464	5,551	5,978	5,929	8,551	4,360	
	減価償却費						1,453	
	【事務分担量】（%）	75	65	70	70	105	50	
	合計（+ +）	433,979	418,501	416,475	430,994	428,157	455,708	511,137
	国（特定財源）	346	480	502	684	684	684	649
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	その他（特定財源）	88	25	60	100	70	50	50
	一般財源	433,545	417,996	415,913	430,210	427,403	454,974	510,438
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	学校数	23	23	23	23	23	24	24
	児童数	7,174	7,382	7,500	7,696	7,867	8,018	8,119
	ジャマイカへの机椅子寄贈(組)	1,249	970	780	1,470	1,580	1,720	
	生ゴミ堆肥化委託の重量(キロ)	128,500	144,388	129,802	137,255	135,526	125,905	

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	光熱水費	電気、ガス、水道	251,425	電気、ガス、水道	276,814	電気、ガス、水道	274,891
	一般需用費	消耗品、修繕	112,663	消耗品、修繕	118,275	消耗品、修繕	162,231
	役務費	電話料、ゴミ処理費など	24,911	電話料、ゴミ処理費など	25,449	電話料、ゴミ処理費など	27,683
	備品購入費	管理・運営備品	16,986	管理・運営備品	16,907	管理・運営備品	30,722
	一般賃金	事務補助員賃金	8,917	事務補助員賃金	8,951	事務補助員賃金	10,282
	使用料及び賃賃料	バス借上	2,330	バス借上	2,372	バス借上	3,055
	負担金補助及び交付金	健康学園協力金	1,115	健康学園協力金		健康学園協力金	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	児童1人あたりコスト（円）	56,002	54,424	56,836	62,956	56,727	総経費 / 児童数

（問題点・課題）	教材教具や備品の老朽化が著しい。 児童数増や物品の単価増により、更新や整備が遅れている。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
高額備品更新の継続（大型備品整備事業で実施）	適正な教育環境の整備が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	小学校運営の基本的な経費を確保するものであり、必要度は高い。

況議会（要旨）問状	
-----------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	学校行事（小学校）	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀 隆
		担当者名	長村淳、太田雪絵	内線	3332
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	学校行事（01-08-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	63 年度	根拠	学校教育法第5条	
終期設定	有 無	年度	法令等	義務教育学校運営費標準	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			

目的	校長会、教育研究会等との連携により体育的行事及び学芸的行事を開催する。
対象者等	小学生在学者
内容	<p>地区別運動会 南千住、峡田、尾久、日暮里の4地区ごとに実施する地区別連合運動会。10月頃に地区内の学校等を会場に開催。参加対象は6年生。</p> <p>図画工作展覧会（小学校） 小学校児童が授業で制作した作品を展示する。東京朝鮮第一幼初中級学校の作品も展示。1月中旬、町屋文化センターで開催。各校の4年生は、展覧会見学を行う。</p> <p>オーケストラ鑑賞教室 小学校6年生と中学校2年生（原則）がオーケストラ演奏を鑑賞する行事。6月下旬実施。会場は、葛飾シンフォニーヒルズ、東京文化会館（上野）、東京芸術劇場（池袋）を使用している。</p> <p>合唱鑑賞教室 小学校5年生がプロ合唱団の合唱鑑賞を行う行事。1月下旬、サンパール荒川で実施。</p>
経過	行事内容の変化はあるが、事業としては学校設立当初より実施し、現在に至る。
必要性	小学校における教育活動の一環として必要性は高い。
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 地区別運動会 各地区単位で運営 オーケストラ鑑賞教室 主に東京都交響楽団に委託 図画工作展覧会 実務は実行委員会で運営 合唱鑑賞教室 主に東京混声合唱団に委託

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	9,830	9,880	9,470	9,513	9,641	9,788	9,612
	決算額（23年度は見込み）	9,038	8,819	8,646	8,866	8,777	8,829	9,612
	人件費等	1,724	1,708	2,135	2,965	2,850	2,616	
	減価償却費						872	
	【事務分担量】（%）	20	20	25	35	35	30	
	合計（+ +）	10,762	10,527	10,781	11,831	11,627	12,317	9,612
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	10,762	10,527	10,781	11,831	11,627	12,317	9,612
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	在籍児童数	7,143	7,382	7,500	7,696	7,809	7,955	8,066

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費	印刷、令達、消耗品	3,689	印刷、令達、消耗品	3,728	印刷、令達、消耗品	4,227
役員費	楽団、合唱団	3,774	楽団、合唱団	3,774	楽団、合唱団	3,839	
使用料及び賃貸料	会場使用料、運搬	978	会場使用料、運搬	1,014	会場使用料、運搬	1,102	
負担金補助及び交付金	交通費補助	336	交通費補助	313	交通費補助	444	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	児童1人当たりの経費 (千円)	1.152	1.124	1.11	-	1.13	事業決算額 / 在籍児童数

(問題点・課題 指標分析)	学校合同事業の円滑な実施と、そのための関係校との連携。
他区の実況	( 実施 22 区 未実施 区 )

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
校長会、教育研究会等との連携を密にし、行事の教育的効果を高める。	児童の体力の向上並びに感性及び情操の深まり。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	学校教育を補完・充実する事業として今後も実施する必要がある。

況議 (要 旨 問 状)	
--------------------------	--



# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	夏季プール水泳指導員	2,896	夏季プール水泳指導員	2,822	夏季プール水泳指導員	3,226
報償費	夏季プール水泳指導員	524	夏季プール水泳指導員	618	夏季プール水泳指導員	672	
一般需用費	プール水殺菌消毒薬等	3,775	プール水殺菌消毒薬等	4,149	プール水殺菌消毒薬等	4,457	
一般需用費	プール水殺菌消毒薬等	1,888	プール水殺菌消毒薬等	1,981	プール水殺菌消毒薬等	2,062	
役務費	プール水質検査	616	プール水質検査	554	プール水質検査	706	
役務費	プール水質検査	268	プール水質検査	224	プール水質検査	294	
役務費			水泳指導員保険料	30	水泳指導員保険料	31	
役務費			水泳指導員保険料	13	水泳指導員保険料	13	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	夏季プール開設日数	小 371日 中 99日	小 380日 中 110日	小 381日 中 126日			
	水質検査結果の不適合の件数	11件	10件	10件		0	

（問題点・課題分析）	適切なプール水の水質管理と、水質検査の確実な実施。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
る過機の老朽化により適切な水質管理が保てない場合があるので、教育施設課とも連携して、対応に努める。	衛生面の向上により、プール熱などの伝染病を防ぐ。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	児童生徒の基礎体力づくりに有効であり、優先度は高い。

議会議事録（要旨）	なし
-----------	----

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	中学校管理運営費	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀 隆
		担当者名	安東真吾	内線	3331
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	中学校管理費(01-03-01)、教材教具(01-05-01)、中学校運営費(01-15-01)				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠	なし	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	区立中学校の施設・設備を適切に管理するとともに、円滑な学校運営や学習指導等に寄与する。				
対象者等	区立中学校 10校				
内容	学校管理費...光熱水費、消耗品費、修繕費、通信運搬費、手数料、備品購入費 教材教具...副読本等消耗品費、物品修繕費、印刷製本費、備品購入費 中学校運営費...一般賃金、食料費、消耗品費、印刷製本費 生ゴミ堆肥化事業：H11年度、小・中各2校で試行。H12年度から全校実施。				
経過	学校の管理運営に必要な基本的な経費として一定額を確保してきた。 教材教具予算のうち「図書館経費」については、18年度予算から「学校図書館整備費」に一本化した。 机・いすの寄贈：H8年度～H22年度完了。更新時に学校が不用と判断した机といすを、小学校分とともに外国に寄贈。（当初はドミニカ、H10～22ジャマイカ）				
必要性	学校管理運営を円滑に進めるうえで、欠くことのできない必要経費である。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 学務課予算分は、学務課が直接執行（契約、支払など）。 学校への予算令達分は、各学校で執行。				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	227,188	222,211	222,039	215,501	209,482	221,617	201,800
	決算額（23年度は見込み）	223,760	201,171	200,241	205,216	186,976	221,617	201,800
	人件費等	5,171	5,551	6,832	5,929	8,551	4,360	
	減価償却費						1,453	
	【事務分担量】（%）	60	65	80	70	105	50	
	合計（+ +）	228,931	206,722	207,073	211,145	195,527	227,430	201,800
	国（特定財源）	410	571	812	812	812	812	771
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	その他（特定財源）	11	13	0	20	0	0	0
	一般財源	228,510	206,138	206,261	210,313	194,715	226,618	201,029
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	学校数	10	10	10	10	10	10	10
	生徒数	2,855	2,859	2,927	2,954	3,073	3,102	3,151
	生ゴミ堆肥化委託の重量（*□）	70,765	77,446	78,332	77,446	78,063	70,144	

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	光熱水費	電気、ガス、水道	118,606	電気、ガス、水道	126,327	電気、ガス、水道	119,601
	一般需用費	消耗品、修繕	47,905	消耗品、修繕	47,950	消耗品、修繕	56,996
	食糧費	来賓用食糧費	332	来賓用食糧費	311	来賓用食糧費	373
	役務費	電話料、ゴミ処理費な	12,907	電話料、ゴミ処理費	12,604	電話料、ゴミ処理費	13,609
	備品購入費	管理・運営備品	6,622	管理・運営備品	9,262	管理・運営備品	10,011
	一般賃金	事務補助員賃金	605	事務補助員賃金	302	事務補助員賃金	1,210

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	児童1人あたりコスト（円）	71,478	63,627	73,317	64,043	56,727	総経費 / 児童数

（問題点・課題）	教材教具や備品の老朽化が著しい。 児童数増や物品の単価増により、更新や整備が遅れている。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
高額備品更新の継続（大型備品整備事業で実施）	適正な教育環境の整備が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	中学校運営の基本的な経費を確保するものであり、必要度は高い。

議（要質問状）	
---------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	学校行事（中学校）	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀 隆
		担当者名	長村淳、太田雪絵	内線	3332
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	学校行事(01-07-01)				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	63 年度	根拠	学校教育法第5条	
終期設定	有 無	年度	法令等	義務教育学校運営費標準	
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	校長会、教育研究会等との連携により体育的行事及び学芸的行事を開催する。				
対象者等	中学校在学者				
内容	<p>オーケストラ鑑賞教室 小学校6年生と中学校2年生（原則）がオーケストラ演奏を鑑賞する行事。6月下旬実施。会場は、葛飾シンフォニーヒルズ、東京文化会館（上野）、東京芸術劇場（池袋）を使用している。</p> <p>総合体育大会（中学校） 6～7月にかけて実施する各種のスポーツ大会（種目：サッカー、野球、バレーボール、バスケットボール、卓球、ソフトテニス、柔道、剣道、バドミントン）</p> <p>連合体育大会 中学校の全校・全生徒が参加する体育行事（選抜選手が競技し、全校で応援する。）。9月下旬に実施。プラスバンド部の合同演奏披露の場でもある。会場は、過去数回を除き、国立霞ヶ丘競技場。</p> <p>連合生徒発表会（中学校） 発表の部は、英語スピーチコンテスト。音楽の部は、楽器演奏及び合唱。サンパール荒川で、11月上旬に実施。</p> <p>連合展示会（中学校） 中学生が授業で制作した作品を展示する。町屋文化センターで、1月下旬に実施。主な出品科目は、美術・家庭科・技術科・書道等。東京朝鮮第一幼初中級学校の作品も展示してきている。</p>				
経過	行事内容の変化はあるが、事業としては学校設立当初より実施し、現在に至る。				
必要性	中学校における教育活動の一環として必要性は高い。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） オーケストラ鑑賞教室 主に東京都交響楽団に委託。 総合体育大会 種目ごと実行委員会が運営 連合体育大会 運営は主に体育部会で行っている。 連合生徒発表会・展示会 実行委員会が運営				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	13,173	13,418	13,017	13,447	13,929	14,511	13,223
	決算額（23年度は見込み）	12,188	12,315	11,862	11,114	11,695	11,469	13,223
	人件費等	1,724	1,708	2,135	2,965	3,665	5,232	
	減価償却費						1,743	
	【事務分担当】（%）	20	20	25	35	45	60	
	合計（+ +）	13,912	14,023	13,997	14,079	15,360	18,444	13,223
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	13,912	14,023	13,997	14,079	15,360	18,444	13,223
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	在籍生徒数（5/1）	2,855	2,859	2,927	2,954	3,037	3,060	3,115

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	謝礼	226	謝礼	226	謝礼	250
	食料費	連体贈、就職者祝	88	連体贈、就職者祝	96	連体贈、就職者祝	107
	一般需用費	消耗品、印刷、令達	3,644	消耗品、印刷、令達	3,306	消耗品、印刷、令達	3,519
	役務費	応急治療費、楽団委託、電光掲示運営	1,514	応急治療費、楽団委託、電光掲示運営	1,514	応急治療費、楽団委託、電光掲示運営	1,649
	委託料		0		0		0
	使用料賃借料	会場使用料、バス借上	5,295	会場使用料、バス借上	5,605	会場使用料、バス借上	5,950
	負担金・交付金	交通費補助	929	交通費補助	724	交通費補助	1,748

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	生徒1人当たりの経費 (千円)	3.76	3.85	3.75	4.24	3.79	事業決算額 / 生徒数

(問題点・課題 指標分析)	オーケストラ鑑賞教室は例年5月下旬～6月初に実施しているが、運動会の時期と重なることから、時期が変更できないかとの意見がある。 教育委員会主催の中学校連合行事は、年間を通じて5種ほどあり、この他に各学校ごとに行事を実施している。移動教室や学校公開週間、運動会、文化祭など、学校行事の数は、非常に多く、スケジュールが過密となっている。また、授業時数の確保に少なからず影響を及ぼしている面は否めない。
他区の実 施状況	（ 実施 22 区                      未実施                      区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
時期の変更については各小中学校の意見集約が前提となるが、現状では各校の合意ができていない。楽団の演出の違いで児童・生徒の反応が違ってくるとの意見があることから、鑑賞教室において高い評価を得ている楽団の手配に努める。	児童・生徒の感性・情操の発達に資する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	学校教育を補完・充実する事業として今後も実施する必要がある。

(議会議 要旨) 状況	
-------------------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	幼稚園管理運営費	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀隆
		担当者名	荒川真衣	内線	3333
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	幼稚園管理費（01-03-01）、教材教具（01-04-01）、幼稚園運営費（01-05-01） 幼児教育補助員派遣事業（01-06-01）				
事務事業の種類	昭和 平成 24 年度	根拠	学校教育法第5条、荒川区立幼稚園条例、幼稚園教育要領		
開始年度	有 無 年度	法令等			
終期設定	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
実施基準	分野	子育て教育都市[ ]			
行政評価事業体系	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	区立幼稚園の適正かつ円滑な管理運営を行うとともに、幼児教育の充実を図る。				
対象者等	区内の満3歳から学齢までの幼児 (幼児教育補助員派遣事業については区立幼稚園に在園する心身障がい児)				
内容	区立幼稚園（8園）について 幼稚園施設の維持管理 幼児教育の充実 幼稚園事務及び入園募集 幼児教育補助員の配置（平成14年度から実施）				
経過	昭和24年、幼稚園需要の増大に対応し、幼児教育の先駆的役割を果たしてきた私立幼稚園を補完する形で2園を開設し、以来、区内各地に10園を設置。その後、園児数の減少を受け、適正な規模と配置の確保を目指し、平成11年度末で2園を廃止し現在に至る。 園児の募集は、私立幼稚園募集の後の日程で例年11月初旬に行う。 幼児教育補助員は、13年度までは、心身障がい児保育介助員として実施。				
必要性	少子化でありながら応募園児数が減少傾向にはなく、区立幼稚園を存続・維持する必要性がある。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				
	各園では、教員のほか、事務補助の臨時職員を1名繁忙期のみ雇用。また、幼児教育補助員を対象園児の状況に応じて配置 幼稚園非常勤職員は、指導室が雇用				

		(単位：千円)						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	51,802	54,454	73,145	84,793	83,277	82,757	78,650
	決算額（23年度は見込み）	46,437	46,459	61,993	62,977	74,026	65,517	86,914
	人件費等	4,740	5,551	5,978	5,082	2,850	3,488	
	減価償却費						1,162	
	【事務分担量】（%）	55	65	70	60	35	40	
	合計（+ +）	51,177	52,010	67,971	68,059	76,876	70,167	86,914
	国（特定財源）	242	228	120	144	165	164	
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	50,935	51,782	67,851	67,915	76,711	70,003	86,914
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	募集定員	745	745	745	860	830	830	865
	園児数実績	523	490	453	505	550	535	538
	心身障がい児数	36	31	28	37	42	37	35
	幼児教育補助員配置数	19	16	17	23	30	30	28

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	共済費	幼児教育補助員社会保険料	4,104	幼児教育補助員社会保険料	4,231	幼児教育補助員社会保険料	6,049
	一般賃金	事務補助、幼児教育補助員	36,186	事務補助、幼児教育補助員	36,604	事務補助、幼児教育補助員	41,719
	特別旅費	幼児教育補助員費用弁償	2	幼児教育補助員費用弁償	6	幼児教育補助員費用弁償	51
	需用費	光熱水費、一般需用費	17,076	光熱水費、一般需用費	16,654	光熱水費、一般需用費	20,387
	役務費	電話料、郵便料、手数料等	2,131	電話料、郵便料、手数料等	2,150	電話料、郵便料、手数料等	2,609
	使用料及び賃借料	園外保育バス借上げ料	4,686	園外保育バス借上げ料	4,982	園外保育バス借上げ料	5,074
	備品購入	備品購入費	1,595	備品購入費	1,706	備品購入費	1,040

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	園児1人当たりコスト (単位：千円)	168	135	122	120	120	総経費 / 園児数

(問題点・課題)	幼稚園保育料の滞納対策 幼稚園と保育園の統合(政府の幼保一元化の方針)への対応
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区) 3歳児保育は7区で実施。非常勤・臨時職員配置は16区、心身障がい児受け入れは全区で実施

問題点・課題の改善策検討		
	平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	口座振替が保育料納入の主な手段となっているが、口座振替未登録者、残高不足等による未納者が存在する。このため、園からの通知等の配布、学期毎のコールセンターの実施により、収納率の向上を図る。	保育料の不納による滞納は、滞納月数が増すほど返納が困難になるため、注意喚起することにより、保育料の収納率アップをめざす。
	国の動向に注視して、対応を検討する。	幼稚園、保育園需要への適切な対応が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	幼児教育の重要性及び少子化対策の観点からも、区として幼稚園教育を充実させる必要性は高い。

(議会議決要旨)	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

<b>事務事業名</b>	汐入こども園管理運営費	<b>部課名</b>	教育委員会事務局学務課	<b>課長名</b>	平賀隆
		<b>担当者名</b>	荒川真衣	<b>内線</b>	3333
<b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）</b>	こども園管理費(01-01-01)、教材教具(01-02-01)、こども園運営費(01-03-01) 給食運営費(01-07-01)、子育て支援事業(01-08-01)				
<b>事務事業の種類</b>	新規事業（22年度 21年度）		建設事業		それ以外の継続事業
<b>開始年度</b>	昭和 平成	19 年度	<b>根拠</b>	荒川区立こども園条例	
<b>終期設定</b>	有 無	年度	<b>法令等</b>	荒川区立こども園条例施行規則	
<b>実施基準</b>	法令基準内	都基準内	区独自基準	<b>計画区分</b>	計画 非計画
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	子育て教育都市[ ]			
	<b>政策</b>	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習の形成[04]			
	<b>施策</b>	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
<b>目的</b>	白鬚西地区における急激な人口増に伴う幼稚園需要及び保育園需要に対応するため、新たに設置する小学校の1階部分を活用し、幼稚園と保育園を一元的に整備する。				
<b>対象者等</b>	区内に在住する3～5歳児及び保育に欠ける0～5歳児				
<b>内容</b>	汐入こども園について 幼保園施設の維持管理 教育及び保育の充実 給食の実施（短・中時間保育利用者は、弁当との選択。） 幼保園事務及び入園募集 保育補助員の配置 在宅育児支援（子育て交流サロン/一時保育等を実施）				
<b>経過</b>	平成18年9月頃から幼保一元化施設の可能性について検討を開始 同年10月、法律施行（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律） 20年4月 第三中学校敷地（暫定園舎）開設 22年4月 汐入東小学校1階に本設園 開設				
<b>必要性</b>	再開発事業の進捗にともないファミリー層が増大する当該地域において、幼稚園需要及び保育園需要に対応するために不可欠である。				
<b>実施方法</b>	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 幼稚園教諭及び保育士のほか、非常勤職員、臨時職員を採用。				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
予算額				39,002	39,814	129,421	125,061	
決算額（23年度は見込み）				26,914	27,471	95,845	125,061	
人件費等				2,541	5,294	5,232		
減価償却費						1,743		
【事務分担当】（%）				30	65	60		
合計（+ +）	0	0	0	29,455	32,765	102,820	125,061	
国（特定財源）								
都（特定財源）						1		
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	29,455	32,765	102,819	125,061	
<b>実績の推移</b>	<b>事項名</b>							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
園児数				95	117	185	203	

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報酬	保育士等報酬	4,860	保育士等報酬	8,454	事務報酬	8,743
共済費	共済費	762	共済費	1,907	共済費	3,762	
光熱水費	光熱水費	4,349	光熱水費	5,051	光熱水費	5,213	
一般賃金	保育士等一般賃金	11,441	保育士等一般賃金	22,627	保育士等一般賃金	39,755	
特別旅費	特別旅費	0	特別旅費	2	特別旅費	16	
食糧費	行事用賄等	56	行事用賄等	45	行事用賄等	58	
一般需用費	消耗品	3,016	消耗品	5,892	消耗品等	8,049	
役務費	電話代・窓ガラス清掃	703	電話代・窓ガラス清掃	1,158	電話代・窓ガラス清掃	1,620	
委託料	保育料システム保守等	1,285	保育料システム保守等	1,644	保育料システム保守等	2,773	
使用料及び賃借料	遠足バス借り上げ	782	遠足バス借り上げ	1,216	遠足バス借り上げ等	1,234	
給食運営費			給食運営費	46,990	給食運営費	53,349	
備品購入費	管理用備品・令達分	219	管理用備品・令達分	849	管理用備品・令達分	457	
負担金補助			社協会費	10	社協会費	32	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	園児一人当たりコスト	247	235	209	200	200	総経費 / 全園児数
	入所率	100%	100%	82%	90%	100%	在籍園児数 ÷ 定員数

（問題点・課題）	・ 幼稚園と保育園の統合（政府の幼保一元化の方針）への対応
他区の実況	（実施 9 区 未実施 13 区） うち、3区5園で認定こども園として設置されている。

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
国の動向に注視して、対応を検討する。	幼稚園、保育園需要への適切な対応が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	再開発事業の進捗にともないファミリー層が増大する当該地域において、幼稚園需要及び保育園需要に対応するために不可欠である。

議（要旨）	
-------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	大型備品整備	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀隆
		担当者名	矢部進一	内線	3331
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	大型備品整備(01-05-04)				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	21 年度	根拠	教育基本法、学校教育法、同法施行規則、小学校設置基準、中学校設置基準、理科教育振興法	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した高額な教材用備品を計画的に更新し、学校設備の充実を図る。</li> <li>理科教育備品（実験器具、標本、模型等）について、新学習指導要領実施の移行措置期間に整備することにより、学習環境を向上させる。</li> </ul>				
対象者等	区内小・中学校34校 幼稚園8園（理科備品は小中学校のみ）				
内容	<p>1 高額備品の充実更新 各学校（園）の状況を調査して優先度を決定した上で、計画的な更新を図る。 （1）単体で30万円を超えるもの（例：ピアノ、印刷機、陶芸窯など） （2）数量が多く必要で、多額の経費がかかるもの（例：清掃用ロッカー、ミシン、テーブルなど）</p> <p>2 理科教育備品の整備 平成23年度（小学校）及び平成24年度（中学校）から、新学習指導要領が全面実施されるのに先立ち、理科教育備品を整備する。なお、21～23年度に関しては、文部科学省の実施する理科教育設備整備費等補助金事業により、予算執行後、対象経費の1/2が補助される。</p>				
経過	平成21年度 陶芸窯（小学校・3か年）、ピアノ（小中5か年、幼3か年）の更新を始める。 新学習指導要領対応の理科教育備品整備（小学校2か年、中学校3か年）開始 その他高額備品の更新充実事業を始める。				
必要性	<p>1 経年劣化で使用不可状態であるピアノや陶芸窯、使用頻度が高く故障が多い印刷機など、各校が授業や事務に支障をきたしており、必要性は高い。</p> <p>2 文部科学省の定める理科備品の整備基準金額に対しての整備率が各校低い状態にあり、備品の充実を図ることが不可欠である。</p>				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>1 各校アンケート調査 全校（園）現場調査及びヒアリング 査定 各校へ予算令達 2 新指導要領に関する物品について、予算令達（同時に、文科省に申請し、一定割合の補助を受ける。）</p>				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額					96,270	93,833	53,248
	決算額（23年度は見込み）					93,419	87,128	53,248
	人件費等					3,665	872	
	減価償却費						291	
	【事務分担量】（%）					45	10	
	合計（+ +）	0	0	0	0	97,084	88,291	53,248
	国（特定財源）					27,044	17,530	
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	0	0	0	0	70,040	70,761	53,248
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	陶芸窯整備校数					8	8	6

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		備品購入	高額備品、理科備品	56,606	高額備品、理科備品	54,086	
消耗品	理科少額設備等	36,448	理科少額設備等	33,042			
運搬費	教材教具運搬費	365					

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	理科備品の整備率（％）	24.5	32.6	41.7	49.5	55	現状整備金額 / 整備基準金額 (文科省設定)

（問題点・課題）	<p>図工室、美術室、家庭科室等の机椅子や楽器類一式等、本事業の予算規模では整備できない項目の老朽化が激しく、更新の必要性が生じている。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	大型備品の計画的な更新を行う。	適正な教育環境の整備が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	老朽化等により授業や事務に支障をきたしている備品が多く、必要性は高い。計画的に更新していく必要がある。

議会議況（要旨）	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	特別教室改修備品等整備	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀隆
		担当者名	矢部進一	内線	3331
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	特別教室改修備品等整備（01-05-03・01-05-03）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	19 年度	根拠	教育基本法、学校教育法、同法施行規則、小学校設置基準、中学校設置基準	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	特別教室改修を実施する小中学校へ、必要となる消耗品及び備品の整備を行う。				
対象者等	区立小中学校				
内容	<p>特別教室の改修工事にあわせて、机・椅子類を更新している。                  購入備品については、児童・生徒の安全確保のため、転倒防止措置を行う。                  教室の工事開始は、夏休みの予定。</p> <p>【整備方針】                  理科室は、19年度まで8人用の児童実験用机を更新していた。                  20年度から小学校は、新しい実験スタイルのために2人用実験用机を整備する方針となった。                  中学校は、第一理科室は、4人で実験をするスタイルの従来の8人用の実験台を整備し、                  第二理科室は、小学校同様の2人用実験机を整備することとした。</p>				
経過	<p>整備実績</p> <p>19年度 第九峡田小学校（理科室及び理科準備室）                  20年度 第四峡田小学及び第九中学校（理科室及び理科準備室）                  21年度 瑞光小学校、第六瑞光小学校（理科室及び理科準備室）及び第一中学校（第一理科室、第二理科室及び理科準備室）                  22年度 第三中学校プレハブ（理科室、被服室及び多目的室）及び尾久西小学校（理科室及び理科準備室）</p>				
必要性	学校の基盤整備事業であり、計画的に更新する必要がある。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）  学務課及び小中学校で実施 改修工事は、営繕課及び教育施設課が行う。				

予 算 ・ 決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
予算額			6,608	28,055	41,469	31,739	0	
決算額（23年度は見込み）			5,874	27,221	38,814	17,204	0	
人件費等						872		
減価償却費						291		
【事務分担量】（%）						10		
合計（+ +）	0	0	5,874	27,221	38,814	18,367	0	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	5,874	27,221	38,814	18,367	0	
実 績 の 推 移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	理科教室整備校数			1	2	3	2	0

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）		
	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	
予算・決算の内訳	一般需用費	理科室用消耗品(瑞光・六瑞)	795	理科室用消耗品(尾久西)	497	予算措置なし	
		実験機器等消耗品(瑞光・六瑞)令達分	99	理科室用消耗品(三中)	2,945		
		理科室用消耗品(一中第一・第二)	813				
		実験機器等消耗品(一中)令達分	82				
	委託料			理科室薬品処理費(尾久西)	420		
				理科室薬品処理費(三中)	630		
	備品購入費	理科室備品(瑞光・六瑞)	16,292	理科室用備品(尾久西)	8,954		
		実験装置等(瑞光・六瑞)令達分	1,606	理科室用備品(三中)	18,294		
		理科室用備品(一中第一・第二)	13,349				
		電源装置等(令達分)	5,777				

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	理科室整備校	3	6	8	8	34	理科室整備済の延校数

（問題点・課題）	<p>学校の授業、行事等に支障がないよう、施工しなければならない。営繕課及び教育施設課と日程調整の必要あり。</p> <p>図工室、家庭科室、美術室等、理科室以外の特別教室の備品が老朽化しているので、施設改修の有無に関わらず計画的に備品を更新する必要がある。特に、小学校の図工室は緊急性が高い。一部の備品は、大型備品整備事業において更新している。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
特別教室備品等の計画的な更新を行う。	適正な教育環境の整備が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	老朽化等により授業や事務に支障をきたしている備品が多く、必要性は高い。計画的に更新する必要がある

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	新学習指導要領に伴う備品整備	部課名	教育委員会事務局学務課	課長名	平賀隆
		担当者名	矢部進一	内線	3331
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	新学習指導要領に伴う備品整備（01-05-05）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	22年度	根拠	教育基本法、学校教育法、同法施行規則、小学校設置基準、中学校設置基準	
終期設定	有 無	24年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[ ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	小中学校・幼稚園の運営[04-07]			
目的	新学習指導要領に基づいた指導が確実かつ適切になされるよう、必要な教材類を整備する。				
対象者等	区内小中学校（武道用具類は中学校のみ）				
内容	<p>新学習指導要領の全面实施（小学校：平成23年、中学校：平成24年）に向け、新たに必要となる教材の整備</p> <p>1 和楽器（箏、三味線、和太鼓等）の整備</p> <p>2 武道（柔道、剣道）用具類の整備</p>				
経過	<p>平成20年3月 新学習指導要領の公示（中学武道の必修化、和楽器の活用等）</p> <p>平成23年4月 小学校新学習指導要領の全面实施</p> <p>平成24年4月 中学校新学習指導要領の全面实施</p>				
必要性	新学習指導要領に基づいた指導を確実かつ適切行うためには、和楽器、武道用具の整備が必要である。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>1 和楽器については複数校に対して一式整備し、交代で利用する。</p> <p>2 武道用具については、22年度は各校少なくとも1種目の指導ができるように整備する。23年度以降については2種目の選択制導入。</p>				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額						37,542	20,816
	決算額（23年度は見込み）						19,233	20,816
	人件費等						1,308	
	減価償却費						436	
	【事務分担量】（%）						15	
	合計（+ +）	0	0	0	0	0	20,977	20,816
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	0	0	0	0	0	20,977	20,816
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	柔道畳整備校数			0	0	0	0	2

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
一般需用費	備品購入費			和楽器消耗品	786	和楽器消耗品	474
				武道用具消耗品	9,337	武道用具消耗品	7,054
				和楽器備品	20,177	和楽器備品	9,363
				武道用具備品	5,329	武道用具備品	1,964
				和楽器修繕	525	和楽器修繕	0
				教材運搬費	1,383	教材運搬費	378

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	和楽器整備式数			8	16	20	小中学校の和太鼓、箏、三味線の延べ式数
	中学校武道整備式数			10	15	20	中学校の剣道・武道の延べ式数 23～24年度は選択制への対応

（問題点・課題）	<p>和楽器については、各校が無理のないスケジュールを立てられるように整備式数を増やす必要がある。武道用具については、別途、既存の柔道畳等を更新するなど、随時修繕等を行う必要がある。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
和楽器の追加整備	各学校で無理のないスケジュールを組むことができ、効果的な指導ができる。
武道用具の追加整備及び既存の柔道畳等の更新	指導種目の充実、安全性の確保が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	新学習指導要領に合わせた教材教具を整備するものであり、必要性は高い。

（議会要旨）	<p> </p>
--------	----------